



北海道胆振東部地震時の取り組み

北光連合町内会（東区）

会長 能澤 正明



北光連合町内会の概要①

- 石狩街道を中心に経済発展し、戦後、住宅地に変わってきた。古くから教育が整備されていた地区。
- ハローワーク、東警察署等の官公庁の出先機関、札幌市あかしあ学園・みかほ整枝園・社会復帰センター・大友恵愛園等の福祉施設や北光児童館・みかほ保育園・アカシア若者活動センターなどの行政機関がある。
- 小学校3校、中学校3校、高校3校、大学3校があり、さらに専門学校などの教育施設が多数ある。



北光連合町内会の概要②

- 人口25,723人、総世帯数16,220戸。
- 町内会加入世帯8,198戸、加入率50.5%。
- 15歳以下の年少者人口比率8.7%。
(区内で2番目に低い比率)
- 人口総体は横ばい状態。少子高齢化は進んでいる。
- 65歳以上の高齢者人口の比率は24.3%。
(東区全体とほぼ同じ)



北光連合町内会の福祉活動①

- 平成18年、安心で安全に暮らせるぬくもりのある地域社会の実現を願い「北光地区まちづくり協議会」が設立。
- まちづくり協議会では「北光地区安心安全サポート隊」を結成し児童生徒の見守り等を行っているほか、活動報告会を開催し、連町と各種団体・施設との連携を推進している。



北光連合町内会の福祉活動②

- 地区社協の事業として、3つのまちづくり事業を実施。

1. 福祉のまちづくり
2. 健康づくり
3. 子育て支援

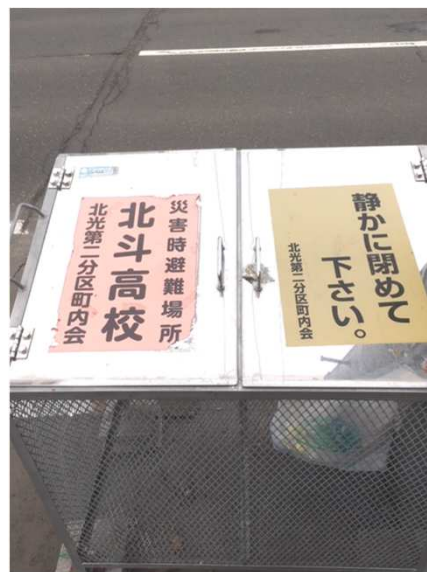
災害に備えた活動について①

- 平成28年「避難行動要支援者名簿」の情報提供。
※11町内会、約650名。
- 防災訓練について（災害対策にマンネリ化はない！）
※DIG（災害図上訓練）、HUG（避難所運営ゲーム）
災害時想定避難所開設運営訓練、積雪寒冷期避難訓練（1月）、車イス利用者の避難訓練を実施。

災害に備えた活動について②

- 災害時避難場所の周知活動

ゴミステーションに避難場所を明記





北海道胆振東部地震時の対応について

- 町内会の災害体制
- 安否確認の実際
- 避難所運営に協力（対策本部の設営）



北光連合町内会防災訓練について①

- 日時 平成30年11月10日（土） 10:00～

- 内容 避難所について（東区役所）

 - 段ボールベット組立体験

 - 避難所入場時の体験

 - 備蓄物資の確認

要配慮者避難支援について（ワン・オール）

障がいのある方の避難を手伝う際の留意点

北光連合町内会防災訓練について②





今後の取り組みについて①

- 1 災害種別、規模別毎の行動マニュアルの作成。
※積雪寒冷期対策。
※市民配布予定（町内会未加入世帯含む）
- 2 単位町内会、連合町内会の防災組織図の作成。
※町内会未加入世帯への対応策も検討。
- 3 要配慮者（災害弱者）への支援対策の検討。
※高齢者、障がい者や乳幼児・母子の世帯。



今後の取り組みについて②

- 4 避難所周知の徹底
- 5 防災マスター制との連携
- 6 防災機材保管庫の整備

